

こゝち子ども 未来フォーラム 2021

実施 報告書



※撮影時のみマスクを外しています。

ディスカッションテーマ

将来の夢・未来の私

18歳選挙権
～選ぶというこゝと～

私たちが考える
「高知を元気にする」方法

今、コロナ禍で
大切にしたいこゝと

高知県子ども条例の概要

がいよう



基

子どもは、次代の社会をになう大切な存在。
年齢や成熟度に応じ、成長できること。



本

子どもが、家庭や学校、地域社会の活動を通じ、
人間性や社会性を育むことができる環境をつくること。

理

子どもが、成長とともに高い規範意識や自尊心、
他者を思いやる心を身に付けることができる環境をつくること。

念

保護者や学校関係者等、地域社会や行政が
子どものために連携すること。



保護者の責務

家庭は子供の育つ基盤であり、保護者は子育てについて重要な役割を持ち、子どもを大切に育てる責務があります。

また、子どもが高い規範意識を身に付け、自ら力を発揮して成長することができるよう、深い愛情を持って育てなければなりません。



学校関係者等の責務

学校関係者等は、子どもの安全を確保する必要があります。

また、子どもが安心して、学びながら成長することができる教育環境づくりに努めなければなりません。

連携



県民の責務

県民は、大人の意識や行動が子どもに与える影響の大きさを自覚し、自らの規範意識を高める必要があります。

また、子どもが健やかに成長することができる社会環境づくりに努めなければなりません。



行政の責務

県や市町村は互いに連携し、子どもが健やかに成長することができる環境づくりに関する施策を策定し、実施する責務があります。

また、地域の住民が協力して行う取組を支援しなければなりません。

目次

INDEX

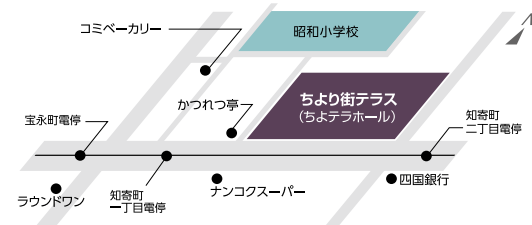
概 要	02
講 演	
講演テーマ・動画を通して何を感じ、何ができたか	
講師・ちゃがまらん(ちゅんさん・ひとしさん)	03
グループディスカッション	
●A グループテーマ / 将来の夢、未来の私	04
●B グループテーマ / 将来の夢、未来の私	06
●C グループテーマ / 18 歳選挙権～選ぶということ～	08
●D グループテーマ / 18 歳選挙権～選ぶということ～	10
●E グループテーマ / 私たちが考える「高知を元気にする」方法 ...	12
●F グループテーマ / 私たちが考える「高知を元気にする」方法 ...	14
●G グループテーマ / 今、コロナ禍で大切にしたいこと	16
●H グループテーマ / 今、コロナ禍で大切にしたいこと	18
専門家講評	20
アンケート	22
ちゃがまらん動画撮影	28
参加者名簿	29

こち子ども 未来フォーラム 2021



日時 2021 **11/23** 火祝 13:00▶16:00

場所 **ちより街テラス 3F
ちよテラホール**



13:00 オープニング・主催者挨拶
13:10

講師 **ちやがまらん**
(ちゅんさん・ひとしさん)

13:10
13:50 テーマ **動画を通して何を感じ、
何ができただか**

グループディスカッション

14:00 テーマ1 将来の夢・未来の私
15:30 テーマ2 18歳選挙権～選ぶということ～
テーマ3 私たちが考える「高知を元気にする」方法
テーマ4 今、コロナ禍で大切にしたいこと

15:40 プレゼンテーション
16:00



講師・ちやがまらん (ちゅんさん・ひとしさん)

■講演テーマ「動画を通して何を感じ、何ができただか」



プロフィール
永遠の大学生、ちやがまらん！
高知を拠点にエンタメ動画を
アップしている。登録者数は
2万人を誇るYouTuber。

ちやがまらん
YouTube
チャンネル



高知県を拠点にエンタメ動画を YouTube で配信している「ちやがまらん」を迎え、ご講演いただきました。講演の開始時には、動画でもお馴染みの「ちやがまらんポーズ」を来場の皆さんと一緒にやって、来場している人たちの緊張もほぐれました。

まずは、彼らの活動を知ってもらうために、本イベントのために編集いただいた紹介動画を会場のスクリーンで視聴しました。

YouTuber には、「失敗するかもしれないけど、やってみよう」と思える方が向いているとお話いただき、YouTuber に限らず、どんな人生であれ、一歩進んでチャレンジすることが、必ず大事になると想いを伝えていただきました。

次に、実際の動画編集を会場で披露いただきました。映像の上にテロップを載せる、BGMを入れることで、撮影した動画を面白くするのが仕事だとのことでは、新鮮な場面となりました。

そして、彼らがなぜ、YouTuber になったのかをお話いただきました。ちゅんさんが大学の授業の一環で、高知県の大豊町でイベントを行った際に出会った県外出身の女性から、縁もゆかりもない大豊町を活性化したいと頑張っている話を聞いたことが「自分たちは何ができるだろうか？」と考えるきっかけになったとのことでした。

もともと高知のことは全く知らなかったが、進学を機に高知へ来てみると、高知の魅力を感じ、自分たちと同じように高知のことを知らない方が全国に多くいるんじゃないかと思い、高知を発信する YouTuber になろうと決意したと、ちゅんさんは語りました。

YouTuber として頑張っている彼らも、失敗の連続。しかし、チャレンジを続けていれば、絶対に成功する日が来る。そう信じて活動をしていると熱く語りました。講演の最後には、「成功する日までチャレンジを続けます。その姿をお見せしますので、皆さんもこれからの人生、色々なことに挑戦して頑張ってみてください。」とメッセージをいただきました。

お二人の講演は、一方通行ではなく、会場の皆さんにも問いかけるスタイルで、会場全体で楽しめる講演となりました。



A グループ 将来の夢・未来の私

橘原高等学校 3 年 明神 光竜 / 岡豊高等学校 1 年 吉田 星瑛 / 春野高等学校 2 年 濱田 千咲希
春野高等学校 2 年 日岡 磨美 / ファシリテーター 薮下 喬平



私たちは、まず自分たちの未来から話し合い、そして、今できることを話しました。

こうありたいと思う自分たちの未来では、頼りになる人、指揮が執れる人、積極的に意見が言える人になりたいという意見が多く出ました。

なりたい職業では、人の命を助けたい、学校の理事長になりたい、大学でも学び続けたいという意見がありました。

次に、今の自分たちをプラスとマイナスに分けて話し合いました。



プラス面では、根性です。一つの分野について調べ尽くしてしまうこと、一度決めたらやめないということです。人柄については、近所の人と仲良くなったり、いろんな人と仲良くなれるところがありました。

マイナス面では、人見知り、コミュ力がないところがありました。

今のことを踏まえて、日常的な機会で行動するか、場数を踏むなど、経験を積み上げることが必要だと思いました。



僕らの共通認識である「経験を積む」にはどうしたらいいのかということについて、各人それぞれ案を出しました。例えば、「学校の講演会の質問コーナーで挙手すること」、「場数を踏むこと」、「まず目の前にあるチャンスを掴み、このようなフォーラムの場で自分の意見を言うこと」によって、自信や経験にもなるし、場をこなすことによって良い方に進んでいくと思っています。



B グループ 将来の夢・未来の私

高知学芸高等学校 2年 橋詰 拓尚 / 戸梶 絵乃 / 小松 瞬弥
岡豊高等学校 3年 山田高等学校 1年

春野高等学校 2年 春野高等学校 1年 ファシリテーター
箭野 有咲 / 中島 望蘇乃 / 山口 彩



私たちは、まず、みんなの夢が何かを話し合いました。
私は、管理栄養士になりたいです。きっかけは、自分が入院したときに管理栄養士の方が優しく接してくれたからです。

私は、臨床検査技師になりたいです。きっかけは、いとこが臨床検査技師で、話を聞いているうちに興味を持ったからです。

私は、作業療法士になりたいです。自分が人を助ける人になりたいとか、頼りにされる仕事ができたらいいなと思ったことと、特技を活かせる仕事に就きたいと思ったからです。



私は、夢を与えられる大人になりたいと思いました。その理由は、自分が子どものとき、憧れていた大人がそういう大人だったからです。そして、次の世代に幸せな未来を過ごしてもらいたいと思ったからです。

私は、ゲームに関わる仕事がしたいです。ゲームが好きで、ゲームを作るプログラミングをしてみたいと思ったからです。

私は、JAXA に入ることが夢です。理由は、YouTubeを見たことがきっかけだったんですが、それ以降、宇宙のことを考えるとワクワクするからです。



これらのことを踏まえて、将来の夢のためには、自分たちの意見を述べる場が少し少ないと思いました。その意見を述べる場を設けるために自分たちができることを考えました。

それは、「ボランティアなど、周りの人たちとの関わりを積極的に増やすこと」、「大人の人たちに自分たちの夢をもっと知ってもらうこと」、「備える未来に向かって賢く生きていく術を身につけておくこと」、「七夕のときによくある自分の夢や願いを書くブース」、「言葉だけじゃ何も生まれないので行動力を上げること」、「SNSなどで一言ポエムなど、本音を語れる場所を作ること」です。

みんなの夢を叶えるために、素晴らしい意見がたくさん出ました。周りの人たちに発信していくことで自分の夢へ一歩ずつ近づくことができると思いました。



Cグループ 18歳選挙権 ～選ぶということ～



窪川高等学校 1年 竹中 楓 / 土佐女子高等学校 2年 小松 紗弥加 / 土佐女子高等学校 2年 池澤 明香
春野高等学校 1年 掛水 翔天 / ファシリテーター 正岡 丈

まず、私たちは、選挙についてメリットとデメリットでまとめてみました。

メリットは、「こういうことをすればもっと平和になるんじゃないか」という『自分の意思や考え』と、『社会への貢献と地域』の2つになりました。

デメリットは、「そもそも選挙って何?」、「何かよくわからない」という『選挙への疑問』。「そもそも選挙へ行くのが面倒くさい」という『参加への不満』が出されました。

デメリットを解消するためには、情報発信が良いと思いました。



例えば、「ちやがまらん」さんを起用して講演を開いてもらいたいです。起用した理由は、説明がわかりやすいし、動画を見ても楽しいからです。

講演の内容は、立候補者の紹介をしてもらうことです。立候補者のプロフィールやポリシー、最近楽しかったことや立候補したきっかけを知ると立候補者に親近感がわきます。

次に選挙の仕組みを教えてください。小選挙区とか、比例代表制とか聞くんですけど、全然意味がわからないので説明してもらいたいです。



そして、選挙に参加するメリットとデメリットを伝えてほしいと思いました。投票所の雰囲気は、堅苦しいと思っているので、どんなところなのかを「ちやがまらん」さんから説明してもらおうと行きやすくなると思いました。

「ちやがまらん」さんがこの4つを言うことで、結果として選挙について理解し、参加する人が増える、不満がなくなる、選挙が楽しくなるというところにたどり着きました。

2番目に考えたのがプレゼントです。足を運びやすくするために、図書カードや商品券、地元の特産物をプレゼントすることで選挙に足を踏み入れる人が多くなると思いました。

最後になりますが、選挙について社会への貢献を考えたときに、「自分の考え一つで何かが変わるの?」と思うことがあります。しかし、法律などが変わることによって回り回って自分に利点が増えるのではないかと思います。そのためには、やはり学校の授業で選挙について考える時間を増やすとか、その中でも模擬選挙をすることによって、選挙の雰囲気を知ること、選挙に行ってみようかなと思う人を少しは増やすことができるのではないかと思います。



D グループ 18歳選挙権 ～選ぶということ～



私たちは選挙について自由に話し合う中で、課題点が意見として出てきました。その課題点は、「投票したい投票先がない」、「興味・関心がない」、「投票の仕方がわからない」など色々出ました。

その課題点の中で、私たちは「知る」ということが一番大事だということに気づきました。そして、私たちが着目した点は、アピール方法を若者向けに変えてみるということです。そのアピール方法は、「SNS の活用」、「政治家との直接的な関わり」の2点です。



土佐高等学校 1 年 竹中 日菜 / 土佐女子高等学校 2 年 田中 里佳 / 岡豊高等学校 2 年 山本 音穂
春野高等学校 1 年 北代 弘輝 / ファシリテーター 大坪 蘭李



1 つ目の「SNS の活用」では、YouTube や Twitter、Instagram などの SNS を活用して、選挙のシミュレーション動画を撮ってもらったり、投稿してもらったら若者と政治家との距離が改善されると思いました。



2 番目の直接的な関わりでは、政治家の方に学校に来ていただいて、講演会をしてもらったり、講演会を聞くだけでなく、政治家と学生で話し合いをしてもらったりしたら距離感がなくなるというか、楽しくできるんじゃないかと思いました。



Eグループ 私たちが考える 「高知を元気にする」方法



私たちは、「高知を元気にする」方法について、理想の状態を考えました。高知県民も他県の方も笑顔にしたいということで、高知県に人を呼ぶことが笑顔につながると思い、イベントを考えました。イベントの名前は、「キャンプだよ！全員集合 高校生主催 ～高知の良い所集めました～」です。

このキャンプの良い所は、全部で5つあります。

1つ目は、ご当地の食べ物がたくさん食べられるところです。鯉のたたきや、日高村のオムライスの屋台を出して、県外から来た方にも県内の美味しいものをたくさん食べて知ってもらいたいと思いました。



高知小津高等学校 2年 池上 葵 / 佐竹 ひなた / 西尾 一晃
山田高等学校 3年 蟹井 陽 / 吉永 茉奈花 / 伊東 里穂
高知学芸高等学校 2年
土佐塾高等学校 2年
春野高等学校 2年
ファシリテーター



2つ目は、高校生が主催することです。主催者は高知県全体で募集するので、たくさんの人と交流することができます。

3つ目はキャンプをすることです。キャンプでは、夜の活動時間に制限がなくなるので、夜 10 時までしか外で活動できない高校生の活動時間が解消されるので良いと思います。

4つ目は、色々なところでキャンプを開催することです。高知県にはキャンプ場がたくさんあります。高知の他のところも、もっと見てほしいと思ったからです。



5つ目は、キャンプをすることで星を見て自然を堪能できるということです。星は季節によって見える星座も変わります。また、他県からも人が来られるよう長期の休みで開催するとして、年3回の開催にしようと考えました。

夕方からは高校生によるイベント、例えば、吹奏楽部やダンス、演劇などのイベントを楽しめて、夜には星を堪能できて、その癒やしが私たちの目標とする高知県民も他県の人も笑顔にすることにつながると思いました。



Fグループ 「高知を元気にする」方法



私たちは、「高知を元気にする」方法について考えました。

私たちが初めに考えた高知県の魅力は、「子育てがしやすい」、「よさこい祭りがある」、「自然がたくさんある」ということです。

中心部以外に出かけにくく、出かける機会が少ないため、高知県民が高知の魅力を全部知らない、中高生は特に知らないと思います。

こんな高知にしたいという理想像は、県内、県外の人々が笑顔になれる県になるということです。

2番目に、県外の人に伝えたいという案が出ました。その中で、「日々のストレスを自然で解消」と、「SNSを活用して県外の人に伝える」、例えば「竜とそばかすの姫」の聖地巡りツアーなどを活かして県外の人に発信するという意見が出ました。



高知北高等学校 3年 岡本 楓生 / 久保 陽愛 / 岡山 紗奈
山田高等学校 1年 浅井 成就 / 春野高等学校 2年 海地 香帆 / ファシリテーター 近森 まい



「都会で疲れ切った身体を自然の中で癒やしたい」、「高知といえばやっぱり自然」という案の中で、森林セラピーが出ました。豊かな自然とたくさんの種類の木が高知県にはあり、森林浴を使って医学的にも証明された健康維持ができます。また、高知県ツアーを通して、県外の人に高知のことを詳しく知ってもらいたいと思いました。

中高生に伝える高知の魅力的な案として、「一日無料バスツアー」や「サバイバルゲーム」、「サイクリング」などが出ました。



高知の自然や美味しいもので元気になるということ、Eバイク（電動自転車）を導入することによって、いつもより遠くまで坂道を気にせず出かけてみようという案もありました。

具体的な例として、私たちは GLAMPING(グランピング) を提案します。高知県にはキャンプ場はたくさんありますが、グランピング施設はなかなかありません。「そもそもキャンプとグランピングの違いって何なの？」と考えたときに、キャンプはテントや食事を自分たちで用意しなければなりませんが、グランピングではそれらはすべて準備されています。準備物が少ないため、高校生や県外から来てくださった方にも楽しんでいただけます。ちなみにグランピング場では、Eバイクや森林セラピーを受けることができます。みんなで元気になって笑顔になりましょう。「高知 de 笑顔になあれ」。



Gグループ 今、コロナ禍で 大切にしたいこと

窪川高等学校 1年 窪川高等学校 1年 山田高等学校 1年
香川 由依 / 木下 煌 / 山本 武志
春野高等学校 2年 ファシリテーター
西岡 美沙輝 / 野村 実央



私たちは、「今、コロナ禍で大切にしたいこと」をテーマに考えました。

最初に出たのは、「消毒やマスクが面倒くさいな」、「対策どうしよう?」などの感情が出てきました。コロナ禍で色々制限されて、たくさんの我慢を強いられて、本当にみんな窮屈な思いをしていると思います。私たちが学校の行事ができなかったり、地域の活動に参加できなかったり、思い出があまり作れない状態です。いつ終わるかわからないコロナに不安もたくさんあると思いますが、消毒や検温などをしっかり徹底していきたいと思っています。



そんな中で、ワクチンが開発されて色々な情報が回ってきて、ネットなどで、何か違うなと思う情報などがあったりして、どの情報が正しいのか、どの情報が間違っているのかを自分自身が判断するということがとても大切になってくると思って、そういったことを学べる環境も大切だと気づかされました。



また、そういった不安がある中で、家族や友人の大切さ、離れた人とオンラインでつながるなど、人と人とのつながりが私たちの不安な気持ちを少しでも和らげることができ、大切だなと思いました。

一番考えたのは、諦めない気持ちです。なぜかというと、諦めてしまうと終わりなんです。だからこそ、諦めないでちゃんと一歩ずつ階段を踏んでいくことで希望というものがみつかると思いました。

地域活性化のためのイベントでは、せっかく地域をアピールする場なのに諦めてしまうと、アピールできる場面なくなってしまうので、諦めないでほしいと思いました。最後に、この中から出た意見をコロナ禍に活かせられたら良いと思っています。



Hグループ 今、コロナ禍で 大切にしたいこと

春野高等学校 1年 矢野 菜月 / 窪川高等学校 1年 谷口 琉優 / 高知追手前高等学校 2年 国則 友花
春野高等学校 2年 ファシリテーター 中平 凛 / 竹内 嘉菜



私たちが考えたのは、コロナ禍で今大切にしたいことです。まず、私たちは自分たちの思ったことを書いて、それぞれ分野ごとにまとめました。

例えば、「マスクをしたことにより、相手の表情がわからなくなることから重要になってくる意思の疎通」、「旅行に行けなくなったこと」、「私たちの学校などで行われる修学旅行などの交流が絶たれたこと」、「給付金やこれから先、子どもたち全員に給付されるお金とクーポンなどに関する社会保障」など、様々な問題がわかってきました。



物価の値上げについては、資源を大切にすることが重要だと思います。休業・失業については、自分のスキルを活かす仕事を見つけることが大切です。高齢者の方への対応は、地域の連携と実行を大切にしたいです。正しい情報がわからないことについては、情報を判断する力を大切にしたいと思います。

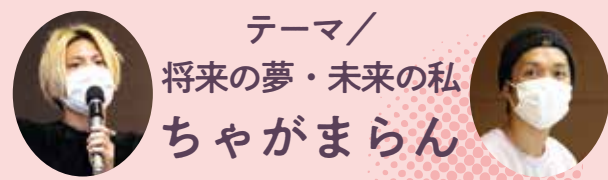
その中でもコロナ禍でさらに悪化したこととして、差別や根拠のない噂などで、それを解消するために私たちが大切にしたいことは、先入観を捨てて思いやりを持つことです。その解決策の一つとして、団体を作ることによって、差別された人に対しては心のケアをして、差別する人に対しては、キャンペーンやデモ行進をして差別をやめるように呼びかけることが大切だと思いました。



もう一つは、差別している人に対して、コロナウイルスについての正しい説明をして、差別していることが正しくないということを伝え、意見していくことです。

最後に、自分の行動を見直すことで、差別している人たちが今までしてきたことについて、考えてから行動することやコロナウイルスは誰でも感染する可能性があることなどを理解するという意見が出ました。





テーマ／ 将来の夢・未来の私 ちゃがまらん

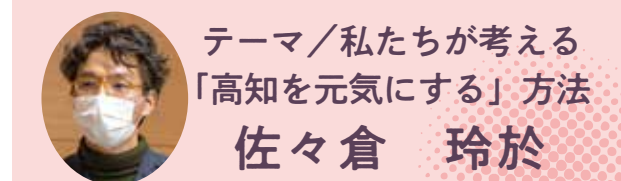
○ひとし 今日は、楽しくやらせていただきました。ほんと皆さん、ちゃんと自分の意見もあって、仲良く話合っ
て、初めましての人も多いはずなのに、みんな楽しくや
られているんですねと思いました。僕が高校時代のとき
は、こんなことなかったです。楽しかったです。ありがとう
ございました。

○ちゅん 休日を使って参加してもらって、そして、同じ
班に違う学校の方もいて、ほかの方に気を遣わなきゃいけ
ない。そういう結構しんどい環境なのにもかかわらず

参加して、一緒に色々なことを協力してやったという
ことは、絶対自分の力になります。今日は、本当に疲れ
たと思いますので、お家に帰ったらゆっくりお風呂に
浸かって休んでいただいて、そして、体が心地よくなっ
たところで、「あっ、そろそろちゃがまらん見ようかな」
ということで、ちゃがまらんの検索をしていただいて、
チャンネル登録をしていただければ嬉しく思います。

学生さんだけでなく、ファシリテーターの皆さん、
スタッフの皆さんも、ぜひ、ちゃがまらんをよろしく
お願いします。

○ひとし・ちゅん ありがとうございます。



テーマ／私たちが考える 「高知を元気にする」方法 佐々倉 玲於

皆さん、プレゼンありがとうございます。素晴らしい
発表、楽しかったです。

私は、EグループとFグループを見させていただきま
した。私の方で伝えていたのは、高知を元気にする方法だ
から方法論を考えて、みたいなことなんですけど、方法を
考えるためには、未来を具体的にイメージしてください
ということをお伝えして、そこを共有してから方法を考
えてもらいました。

方法はパッと浮かぶんですけど、そこから考え始め
ると具体的なことが無数に考えられて、何をやりたいの
かがわからなくなってくるとか、本当にやりたかったこ
とがやれなくなることが起こるので、目指したい未来の
ような理想の状態……、ここで言うと、高知が元気になっ
ている状態ってどういう状態ですかというのを質問し
て、それに対して考えてほしいということをお願いしま
した。

ちゃがまらんさんが、高知を元気にするとか、大豊の例
を挙げていましたが、そこを何とかしたいという思いから
YouTuber という方法を選んでやっているんだなとい

うのを聞いて、ぜひほかの皆さんもそうやって理想の
状態を描いて、「自分は何する？」ということを考えて
てほしいと思いました。

その中から色々話を聞くと、面白かったのは、それぞ
れのグループとも、高校生だから移動できない、移動し
にくいことや、交通の課題を挙げていて、高校生の子ど
もたちってそうやって移動に制限があり、大人はあん
まり考えてないんですけれど、結構自由じゃないんだ
なということを感じました。そこを変えていくことが
社会として必要だと思いました。

そこから2グループ、それぞれ、キャンプのような
方法を出し、笑顔にしたいということも同じように
出しました。これは、僕が何か言ったわけでもなく、高
校生は笑顔にしたいということを本当に思っているとい
うことを感じました。

その笑顔にするとか、キャンプのような方法から
僕が勝手に考えたのは、自由に移動ができて、集って、
コミュニケーションをすること、自然があり、美味しい
といったことを今の高校生や若い人は求めている、
その方法が高知の中で作られたり、高校生によって
実現される未来ができれば高知はもっと元気になると
思いました。そうしたことから今の高校生や、大学生に
とても期待を持てた時間でした。



テーマ／18歳選挙権 ～選ぶということ～ 近森 真人

皆さん、休日の中、お疲れさまでございました。Cグ
ループ、Dグループとも、18歳選挙権、選挙、政治という難
しいテーマの中、うまく改善策などを出していただいた
なと思いました。

若い方に身近な方を活用して選挙に興味を持ってもら
う、関心を持ってもらうというのも一つの方法だと思いま
すし、また、政治家側は、なかなか若者の方と接する機会



テーマ／今、コロナ禍で 大切にしたいこと 福住 紀明

今日は皆さん、お疲れさまでした。僕は主にGグループ
とHグループを中心に見させていただきました。

僕がアドバイスしたことは、Gグループ、Hグループ
は、ほかのグループとちょっと違って、コロナという身近
な問題だったので、ネガティブな部分にも目を向けてい
かないといけないところで、難しいテーマであったと思
うのですが、皆さん協力していて、心からすごいなと思
いました。

僕自身がアドバイスしたことは、どうしても人って嫌
なところばかり目が行きがちなので、マイナスな視点だ
けではなくて、そこをどうプラスに変えていくかという
ことをアドバイスさせていただきました。

皆さん、今日一日を振り返ってみてどうでしたか。最
初、新しい人とか、新しい考えとか、そういった人に出会
える期待とか、ワクワクもあったと思うのですが、「うまく
できるかな？」とか、あるいは、「自分の意見言えるか
な？」とか、不安とか、緊張もあったと思います。人によ
っては、自分から積極的に意見を言えたという人もいれば、
あまり、意見を言えなかったなとか、あるいは、なぜこの
人は積極的にコミュニケーションできるんだろうとか、
色々発見があったと思います。大事なのは、そういった

や直接お話を聞く機会がないと思いますので、少し距
離が遠いと思うかもしれません。

これから大学に進学して、県外に出ていかれる方も
いらっしゃると思いますし、県内に残ってくださる方
もいらっしゃると思いますが、なるべく待ちの姿勢で
はなく、自分から色々興味を持ったらその方のお話を
聞きに行くであったり、SNSを調べるといったことを
して選挙については興味を持ていただければと思い
ます。

本日はどうもお疲れさまでございました。

色々なことに自分が気づいたかどうかということなん
ですよ。

例えば、ポジティブな側面に気づけば、これから
自分はその部分を伸ばしていこうとか、逆に何か自分
の課題が見つかったらそれを今後の自分の成長するた
めの目標として小さなことからチャレンジしていく、
そういう視点を見出ししていくことができると思うん
ですよ。なので、今日、このフォーラムに参加するこ
とによって、新たな自分の可能性に気づけたんじゃない
かなと思います。

最後に、休日、祝日にもかかわらず高校生の皆さんは
意欲的にこのフォーラムに参加して、またそれを支え
る学校の先生方、保護者の方、そしてスタッフの大人の
方々がいらっしゃって、高知の未来は明るいなと思
いました。



ディスカッション参加者

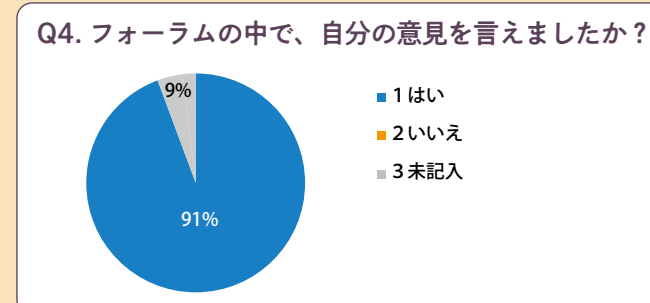
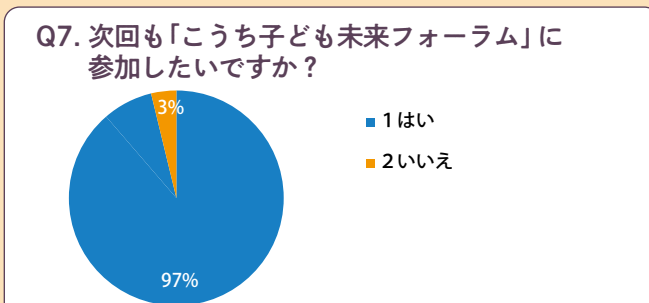
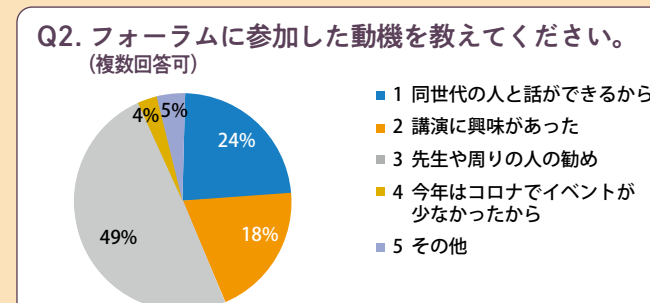
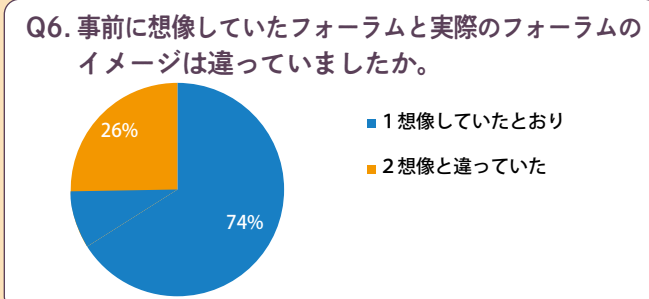
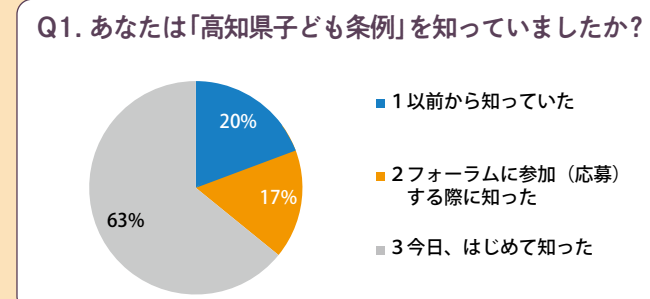
Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？	
①以前から知っていた	7
②フォーラムに参加（応募）する際に知った	6
③今日、はじめて知った	22
合 計	35

Q2. 参加した動機を教えてください（複数回答可）	
①同世代の人と話ができるから	13
②講演に興味があった	10
③先生や周りの人の勧め	27
④今年はコロナでイベントが少なかったから	2
⑤その他	3
合 計	55

Q4. フォーラムの中で、自分の意見を言えましたか？	
①はい	32
②いいえ	0
③未記入	3
合 計	35

Q6. 事前に想像していたフォーラムと実際のフォーラムのイメージは違っていましたか。	
①想像していたとおり	26
②想像と違っていた	9
合 計	35

Q7. 次回も参加したいですか？	
①はい	34
②いいえ	1
合 計	35



Q3. フォーラムに参加した感想をお聞かせ下さい。

- ちゃがまらんのイメージがなんとなく明白になった。
- 最初は不安だったけど、めっちゃ楽しかった。
- 色々な人と話ができ、すごく楽しかった。
- ちゃがまらんさんの熱い話を聴けて満足しました。
- ちゃがまらんのひとしさん、ちゅんさんと話ができ良かった。グループメンバーと仲良くなれて良かった。
- 色々な人と話すことができて、良かった。
- 発言や意見を聴く中で、楽しく、また新しい考えも知ることもでき、とても楽しかったです。
- とても緊張しましたが、とても良い経験になりました！
- めちゃめっちゃ楽しかった！！
- 自分とは違う意見を聞けて楽しかった。
- 自分の意見をたくさん言うことができて、楽しかったです。
- 意外と面白かった。
- 自分では思いつかないことや、自分の意見も言えたのでとても良い経験だった。
- 普段あまり自分の意見を言えないので良かった。
- 同世代の人でも違う考えを持っていたので、参考になった。
- 自分では考えることのないアイデアが聞けて良かった。
- 他校の人たちと交流できて楽しかった。
- 他の高校生の意見が聞けてとてもためになった。この先、この経験を活かして高知を活性化したい。
- 他校の人と話し合う機会があって良かった。
- 全く知らなかった同世代の人たちの意見がたくさん聞けて、とても楽しかったです。
- 他の人の意見を聞いて交流ができて良い機会になった。
- 色々な人と喋ることができて良かった。
- 自分が気づけなかったことに気づけた。
- 他校の人たちと一緒に話せて楽しかった。
- 同世代の人と話せて自分にはない考えを聞けて良かった。とても緊張しました。
- たくさん話して考えることができて、チャレンジして良かった。
- 緊張した。
- 面白かった。意見の交流ができた。



Q5. 同世代の人や、専門家の話、ファシリテーターの話を聞いてどう思いましたか？

- 面白いなと思いました。短所と思っていた所は案外似通ったり、シンパシーの通ずる部分がある。
- 意見がとても発表しやすかった。
- 自分と同じで意見を持っている人や夢を持っている人がいた。
- 色々な夢を持っているなと思いました。
- 積極的に話ができて人ばかりで、色々な考えが聞けて良かった。
- 良い意見だと思った。
- とても興味が持てる話だった。
- さまざまな意見が聞けて勉強になった。
- 話をする機会をいただくことで、新しく考えを知り、自分の考えにも参考になりました。
- 意見（しっかりとした）を持っているなと思いました。
- 将来について、とても参考になりました！
- とても興味深かったです。
- 私たちの班は選挙権について、自分の意見をきちんと持っているとわかりました。専門的なことも知れて良かったです。
- 自分にはない意見が聞けて新鮮でした。
- わかりやすく話をまとめるのが、得意でございました。
- 色々な意見があって、面白かった。
- 深いところまで考えられた。
- たくさんの刺激を受けて、成長できたと思う。
- 考え方や見る方向性が違った。
- 人により意見は異なるため、他人の意見を聞くことは大切だと思いました。
- 自分と違った考えがたくさん出て、びっくりした。
- みんな、高知を元気にしたいと思ってるんだなと思った。
- 納得した意見がたくさんありました。
- 広い視点で、納得させられることが多くて、びっくりしました。
- 良い話が多く、ためになった。
- 自分とは違う着眼点で色々なことを知れて楽しかったです。
- 新たな知識が得られた。
- 自分にはない考えを聞けて良かった。良い経験ができたと思います。
- 奥深く知れて、良かったです。
- 色々な考え方があったなと思いました。
- これからについて活かしたいと思った。

Q6. 事前に想像していたフォーラムと実際のフォーラムのイメージは違っていましたか。

- こんなに話すとは思ってなかった。
- 話を聞くだけだと思っていた。
- もっと多くの人たちと話すと思っていた。
- もうちょっと堅いかと思いました。
- 笑顔があふれているような場所でした！
- もっと堅いイメージでした。
- 思ったよりも楽しかった。
- もっと緊張して、意見が言いにくいものかと思っていた。



Q7. どのような内容なら参加しやすいですか？

- 暖房が少し暑かった。
- 知事の話や、企業の人の話。
- 時間を守ってほしい。
- 尾崎正直さんの講演を聞いてみたい。ファシリテーターがやりたい！
- 興味が持てるテーマだったら、参加したい。
- どのような内容でも、新しい考えを知る機会となればと思うので、参加したいです。
- もっと自分の意見がわかりやすく言えるような内容。
- 防災について話してみたい。
- 高知のことが大好き。
- お堅い感じではなく、今回みたいな楽しいもの。
- 未来について。
- 外国に行ったことのある人に海外の生活について話してほしい。
- ちゃがまんさんの他にも、高知で活躍する人のお話が聴きたいです。
- 楽しめるなら良いと思う。
- 高知県についての内容。
- 高校生が主体となったテーマ。
- 高知県について。
- 色々な人たちとたくさん話せる内容。
- 外国人。
- 今回と同じでいいと思う。
- 高知県の課題について。
- グループディスカッション。



ファシリテーター・専門家

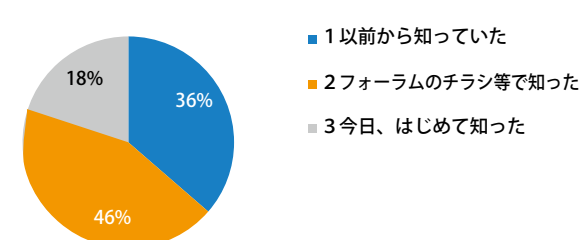
Q1. 子どもたちの意見（発表）を聞かれてどう思いましたか？

- 子どもたちが悩みぬいて考えだした1つの答えは、どれも魅力的であると感じた。今回はどの班も具体的なアクションプランを提案していて、ファシリテーター次第で話し合いも変わるのだと気づくことができた。
- 高校生らしい素直な意見が聞けてすごくおもしろかった。とても良い機会でした。自分も就活中なので素直な夢が聞けて、励みになりました。
- 多感な時期であるため、色々なことに気づき考えていると思いました。今日で自分の考えを言語化し、まとめられる自信がついたと思います。
- 色々な考えがあって楽しかったです。
- 軸をしっかりもっている子どもたち（高校生）が多くて、とてもビックリした。
- 私が高校生の時より、多くの意見を持っていて、話し合いをしていて、とても楽しかった。
- 人見知りだったり、自分のことについて（意見などを）話すことが苦手な人も、協力しながらグループ活動に取り組んでいる姿をみて、自分の苦手なことにも取り組むことがすごいと思いました。今の子にしかできない思いが詰まった発表になったと思いました。
- コロナに対して思うことはあるものの、もうすでにそれが当たり前になっていて驚きました。状況的に受け身（制限等）になりやすいので、自分が行動を起こせる機会が少しでもあったらいいなと思いました。
- 話し合いへの参加意欲も高く、感心する場面ばかりでした。高知の未来は明るいと思いました。
- 短い時間でここまでまとめて、ちゃんと発表できるのが本当にすごいと思った。しかも初対面もいるなかで、、、自分が学生の時はここまでちゃんとしていなかった。
- 高校生ならではの発想でとても興味深く思いました。ただ一方で、テーマによる差が大きいと思いました。将来のことは青年期の普遍的なテーマで考えやすく、高知県のことも身近な地域から考えやすく、とてもよいテーマだと思いました。コロナで大切にしたいことについてはテーマとしてはおもしろいのですが、生徒からの意見はネガティブな意見が目立つのが印象的でした。自分の嫌な経験から視点を変えて考える必要があるため、認知的な負荷がかかる活動が苦手な生徒や、グループのメンバーの質、ファシリテーションに左右されやすいと思いました。集まるメンバーによっては難しいテーマだと思いました。

Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？

①以前から知っていた	4
②フォーラムのチラシ等で知った	5
③今日、はじめて知った	2
合 計	11

Q1. あなたは「高知県子ども条例」を知っていましたか？



Q2. フォーラム全体を通じての感想をお聞かせ下さい。

- ファシリテーターの難しさ、やりがいを感じることができた。話を引き出す方法、まとめるのがとても難しかった。
- ちゃがまんさんの講演がとても楽しかったです。
- 参加者が参加する講演であったため、緊張が解け、終始和やかな雰囲気での議論ができたと思います。色々な意見が聞けて楽しかったです。
- 高校生の発想力はすごいなと思った。
- 意見はでるが、まとめていくのが高校生だけでは少し難しそうだったけど、この経験ができるということが、とても貴重だと感じた。とても良かった。
- 時間の管理が難しかった。貴重な経験になった。
- 自分たちの年齢に近い人の講演は将来の夢だったり、今後の目標だったりをより深く考えられることに繋がったり、夢を見やすくなるのではないかと思います。自分の考えを相手に伝え、理解し、そこから発展することの難しさを感じました。高校生にしか出せない意見や考えを聴いて、気づかされたりすることが多くあり、良い経験になりました。
- 学生さんの多様な角度での意見、表現が新鮮でした。専門家の意見が学生さんの思考を活性化させていて、とてもバランスの良い構成だと思いました。自分のファシリ力をもっと頑張らないと、と思いました。
- スタッフの方をはじめ、ファシリテーターや参加学生、みなさんが熱意にあふれているように感じました。
- ファシリテーターの方が、ちゃんとグループの進行をして、学生たちが自分で発言をして、まとめて、あくまでファシリテーターは進行役に徹していることがすごいと思った。このフォーラムの仕組みは、本当にすごいと思いました。ディベート、発表もそうですが、僕らと関わったことで、学生の何かの成長に繋がったらいなと思いました。
- ファシリテーターが大学生というのはとてもよい方法だと思いました。あと、講演の内容とグループワークのテーマが結びつきやすいものと、結びつきにくいものがあるように思いました。講師の方にその後のグループワークのテーマ、また高知県子ども条例を踏まえた上で講演してもらおうとよいと思います。例えば条例第〇条と具体的にからめることで、子ども条例について理解が深まると思いました。また講師の方がサポートに入っているグループが特定のグループだけだったので、全体的な立場ですべてのグループにかかわると、子ども一人ひとりを平等にあつまっているというメッセージになるかなと思いました。

Q3. 次回開催時に改善した方が良いお気づきの点がありましたらお聞かせ下さい。

- 高校生で時間的に厳しい人もいるかもしれないので、時間が来た時点で「時間大丈夫？」と聞いてあげたほうがよいかなと思いました。
- 時間が押してしまった。17時までにしても良いと感じた。
- 講師として、学生さんの緊張を解くために冒頭でインタビューを行ったのですが、まだまだほぐせていなかったなと反省しました。次回、講師として登壇される方は、一緒に大きい声を出すなどアイスブレイクの時間を多めに取ると会場全体が盛り上がりやすいかもしれません！
- 特にありません。楽しませていただきました。ありがとうございました。良い経験になりました。
- ①プレゼンテーションだけでは見づらいので、各グループの成果物を見て回る時間があるといいと思いました。
- ②発言の声が小さいグループがあったので、関係づくりに時間をかけてもよいと思いました。
- ③ふりかえりの時間を設け、グループワークで出てきた言葉が、子ども条例やリーフレットとどう結びつくかにつなげると、深い学びにもなると思いました。（(例)思いやり）

Youtuber

高知県在住

Youtuber「ちやがまらん」

動画撮影

子ども達にも動画撮影を体験していただくために、来場した子どもたちにインタビューを実施。その様子を動画で撮影しました。

また講演中には編集まで行っていただきました。イベントのラストには編集した動画を会場で視聴。動画は最後まで完成することができなかったですが、撮影に触れることができ、楽しい時間となりました。



こわち子ども 未来フォーラム 2021

ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

ディスカッション参加者

A グループ テーマ / 将来の夢・未来の私

橋原高等学校	3年	明神	光竜
岡豊高等学校	1年	吉田	星瑛
春野高等学校	2年	濱田	千咲希
春野高等学校	2年	日岡	磨美

B グループ テーマ / 将来の夢・未来の私

高知学芸高等学校	2年	橋詰	拓尚
岡豊高等学校	3年	戸梶	繪乃
山田高等学校	1年	小松	瞬弥
春野高等学校	2年	箭野	有咲
春野高等学校	1年	中島	望蘇乃

C グループ テーマ / 18歳選挙権～選ぶということ～

窪川高等学校	1年	竹中	楓
土佐女子高等学校	2年	小松	紗弥加
土佐女子高等学校	2年	池澤	明香
春野高等学校	1年	掛水	翔天

D グループ テーマ / 18歳選挙権～選ぶということ～

土佐高等学校	1年	竹中	日菜
土佐女子高等学校	2年	田中	里佳
岡豊高等学校	2年	山本	音穂
春野高等学校	1年	北代	弘輝

E グループ テーマ / 私たちが考える「高知を元気にする」方法

高知小津高等学校	2年	池上	葵
高知学芸高等学校	2年	佐竹	ひなた
土佐塾高等学校	2年	西尾	一晃
山田高等学校	3年	蟹井	陽
春野高等学校	2年	吉永	茉奈花

F グループ テーマ / 私たちが考える「高知を元気にする」方法

高知北高等学校	3年	岡本	楓生
高知追手前高等学校	2年	久保	陽愛
高知学芸高等学校	2年	岡山	紗奈
山田高等学校	1年	浅井	成就
春野高等学校	2年	海地	香帆

G グループ テーマ / 今、コロナ禍で大切にしたいこと

窪川高等学校	1年	香川	由依
窪川高等学校	1年	木下	煌
山田高等学校	1年	山本	武志
春野高等学校	2年	西岡	美沙輝

H グループ テーマ / 今、コロナ禍で大切にしたいこと

春野高等学校	1年	矢野	菜月
窪川高等学校	1年	谷口	琉優
高知追手前高等学校	2年	国則	友花
春野高等学校	2年	中平	凜

講師

ちやがまらん(ちゅんさん・ひとしさん)

専門家

高知県総務部市町村振興課	近森 真人
一般社団法人いなかパイプ	佐々倉 玲於
高知大学教育研究部	福住 紀明

ファシリテーター

高知大学教育学部4年生	藪下 喬平
高知大学地域協働学部3年生	山口 彩
高知大学理工学部4年生	正岡 丈
高知学園大学健康科学部1年生	大坪 蘭李
高知大学教育学部4年生	伊東 里穂
関西大学経済学部3年生	近森 まい
高知県立大学健康栄養学部3年生	野村 実央
高知工科大学経済・マネジメント学群4年生	竹内 嘉菜

司会

土佐高等学校	2年	梶 美咲
土佐高等学校	2年	戸梶 未彩





高知県子ども・福祉政策部 少子対策課



〒780-8570 高知市丸ノ内1丁目2番20号
TEL:088-823-9640 FAX:088-823-9658

